

## そこが聞きたい!!

# 一般質問

一般質問のようすは、インターネットで配信をしています。2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます。(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)

☑ 一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。9月定例会では、18名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。

### 再考した基本構想案の議会への情報提供は適切であったのか

田中 寿夫 (光と風)



録画配信の  
2次元コード

①8月22日に決裁を受けた、再考したふれあい健康センターPFI(RO方式)事業基本構想案を、議会からの資料請求に対して開示しなかった理由は。

②地元自治会に対する再考した基本構想案の説明会のチラシを8月9日に配布した後に、議会への情報提供という順番になった理由は。また、議会に対する情報提供や丁寧な説明がないのはなぜなのか。

③全庁的に決定していない基本構想案を一部の市民だけに説明会を開催するのは、公正・公平な行政執行と言えるのか。

**健康推進部長** ①8月30日に文教厚生委員会協議会、9月4日に地元議員へ説明した後、開示することとしたためである。

②チラシについては、多くの地元自治会の方々に説明会の開催を知ってもらうため、8月9日に配布した。

再考した基本構想案の説明は、地元自治会より前に、文教厚生委員会協議会及び地元議員に説明し、当該資料は議会グループウェアで議員が閲覧できるようにするなど、丁寧に対応している。

③再考した基本構想案は、8月22日に市長が決裁した上で、文教厚生委員会協議会及び地元議員への説明を経て、9月6日に市公式ホームページで公開した。

地元自治会への説明会は9月24日に開催予定であるため、確定する前に一部の住民だけに公表することには当たらない。



サビオ稲荷山

### 浄化槽設置世帯に新たな補助制度の検討を

関根 弘樹 (公明党)



録画配信の  
2次元コード

狭山市の下水道普及率は97%とのこと。埼玉県、また近隣市の普及率と比較して、どのように分析されているか。

**上下水道部長** 令和5年度末現在、埼玉県の普及率は83.6%、近隣5市では、川越市が87.2%、所沢市が95.2%、入間市が88.9%、飯能市が72.7%、日高市が64.4%となっており、本市は近隣市に比べ公共下水道の普及が進んでおり、市街化区域の整備に加え、平成5年度からは市街化調整区域の整備に、近隣市に先駆け着手したことが要因と考えている。

市街化調整区域第4期整備事業が終わりに近づいている現時点で、公共下水道に接続できない方が3%いる。下水道が普及していない世帯

は現状で何世帯か。

**上下水道部長** 令和5年度末現在、公共下水道が普及していない世帯は約2,000世帯である。

公共下水道が普及していない約2,000世帯は、汚水や生活排水の処理は浄化槽を設置したり、くみ取り式のトイレを使用することになる。浄化槽の維持管理に関わる補助制度を復活させるべきと考えるが、市としての見解は。

**環境経済部長** 浄化槽や公共下水道などを含めた生活排水の処理について検討を進めていく中で、その整備手法を踏まえた補助の在り方について研究していくとともに、県に対しても浄化槽の維持管理に係る補助制度の創設を要望している。



生活排水を処理する浄化槽

その他のテーマ▶ [単身高齢者・身寄りなし高齢者を支える仕組みづくり](#)

### 小中学校での環境学習の充実を!

笹本 英輔 (健政会)



録画配信の  
2次元コード

今後多くの児童生徒が充実した環境学習の機会を等しく得られるには。

**学校教育部長** 先進的な環境教育に関する授業や学校での取組を、全小中学校に情報発信し、共有することで、児童生徒や地域の実態等を踏まえた環境学習がより充実できると考えている。また、関係課や関係団体及び企業との連携による取組をより推進するために、教育委員会としても情報提供などを積極的に行い、学校を支援していきたい。

子供たちが地球環境や気候変動の学びの機会を増やすことについて、市長・教育長の考えは。

**教育長** 地球環境や気候変動に関する教育は、[その他のテーマ▶市内武道場に空調を▶学校テスト自動採点▶情報端末の活用で教材費減](#)

世代を担う児童生徒にとって、非常に重要なテーマであるため、引き続き環境教育の充実のために様々な取組を進めていく。

**市長** 未来の社会を担う子供たちが、環境問題に対する理解を深めて、実際に行動を起こせば、持続可能な社会の構築につながることから、環境教育を地道に継続することは私たちの世代の責任であると考えている。



未来のために今こそ環境学習を!

### 市民の安全・安心への、市の取り組み状況は

広山 清志 (公明党)



録画配信の  
2次元コード

特殊詐欺対策機器等購入補助金の利用状況と、事業に対する市の評価は。

**市民部長** 補助金の利用状況は、96名に対し、47万5,000円の助成金を交付した。令和5年の被害件数は、令和4年から33件減少したことから、購入費補助金が、その一助となっていると評価している。

防犯カメラに期待する効果は。

**市民部長** 防犯カメラの設置により、犯罪者に対し、心理的な抵抗となり、犯罪発生率の低下が期待でき、市民に安全で安心して暮らせる環境の提供



防犯カメラのイメージ

に、つながると考えている。万が一、事件が発生した場合は、カメラが捉えた映像が、事件の解決に向けた重要な証拠となり、迅速な犯人の検挙につながるものが可能となるものと考えている。

安全運転支援装置と運転免許自主返納の支援制度の評価は。

**市民部長** 後付け安全運転支援装置設置費助成制度は、令和5年度末時点で延べ109人に対し、178万3,000円を助成し、アクセルとブレーキの踏み間違いによる事故防止に、一定の効果はあったものと評価している。

高齢者運転免許証自主返納支援制度は、令和5年度末時点で延べ2,125人に対し、2,536万6,000円を助成した。アンケートでは、「制度をきっかけとして、免許を返納する決心をした」など、当該制度を評価する声をいただいております。高齢者の免許の返納について効果があったと評価している。